

ID	
氏名	
年齢	
科名	病棟

VP-16+ CBDCA 療法

3 週毎 コース予定

疾患名 胚細胞腫瘍

主治医 指導医 HBs 抗原(+ -) HBc 抗体(+ -) HCV 抗体(+ -)

スケジュール

		day1	day2	day3
エトポシド	150mg/m ²	↓	↓	↓
カルボプラチン	300mg/m ²	↓	↓	

【注意】 * エトポシドは溶解後結晶が析出するため用時 100 mg を輸液 250 mL 以上で希釈（濃度 0.4 mg/mL 以下の濃度になるように）し、30～60 分で点滴静注するのが望ましい。また DEHP フリー点滴セット（フィルターなし）を使用する。エトポシドの濃度が 0.4mg/mL を超える場合、薬剤部はエトポシド原液をシリンジに充填して交付。施行直前に病棟にて希釈輸液に混和して点滴する。

☆通常量より減量する際の理由☆

(レジメン)

day 1, 2

- | | |
|-----------------------------------|--------------------------------------|
| ① 生食 500 mL で血管確保 | 維持 (20 mL/時間) |
| ② グラニセトロン注 3mg 1 筒 | 側管静注 |
| | (生食 100 mL 点滴静注 30 分 (200 mL/時間)でも可) |
| ③ デキサメタゾン 9.9 mg (3mL) + 生食 20 mL | 側管静注 |
| ④ エトポシド + 5%ブドウ糖液 500 mL | 点滴静注 90 分(360 mL /時間) |
| ⑤ カルボプラチン + 5%ブドウ糖液 250 mL | 点滴静注 60 分(250 mL/時間) |

◎ 終了後メインの生食でルート内フラッシュして抜針

day 3

- ① 生食 500 mL で血管確保 維持 (20 mL/時間)
 - ② デキサメタゾン 6.6 mg (2mL) + 生食 20 mL 側管静注
 - ③ エトポシド + 5%ブドウ糖液 500 mL 点滴静注 90分 (360 mL /時間)
- ◎ 終了後メインの生食でルート内フラッシュして抜針

day4

- ① 生食 500 mL で血管確保 維持 (20 mL/時間)
- ② デキサメタゾン 6.6mg (2mL) + 生食 20 mL 側管静注

	コース				コース			
	day1	day2	day3	day4	day1	day2	day3	day4
月 日	/	/	/		/	/	/	
エトポシド 開始時刻	↓	↓	↓		↓	↓	↓	
カルボプラチン 開始時刻	↓	↓			↓	↓		
確 認								

	コース				コース			
	day1	day2	day3	day4	day1	day2	day3	day4
月 日	/	/	/		/	/	/	
エトポシド 開始時刻	↓	↓	↓		↓	↓	↓	
カルボプラチン 開始時刻	↓	↓			↓	↓		
確 認								